

～次に読む本や読書感想文の本に～
流山市立図書館でかいられる

📖 おすすめの本 📖

3・4年生
むけ



夏休みにぴったりの本を、
たくさんえらんでみました！
わくわくするような本たちといっしょに、
お休みを楽しんでみませんか？
※せいきゅうきごうは、本のせびょうしに
ついていきごうです。
本をさがす手がかりにしてくださいね♪



本のなまえ	かいた人	しゅっぱんしゃ	せいきゅうきごう
ナマコ天国	本川 達雄／作 こしだ ミカ／絵	偕成社	Eコシ
フローレンス・ナイチンゲール	デミ／作 さくま ゆみこ／訳	光村教育図書	Eテミ
人生って、なに？	オスカー・ブルニフィエ／文 西宮 かおり／訳	朝日出版社	113
昆虫の体重測定	吉谷 昭憲／文・絵	福音館書店	486
あらしのよるに	きむら ゆういち／作 あべ 弘士／絵	講談社	913キム
夏休みに、ぼくが図書館で 見つけたもの	濱野 京子／作 森川 泉／絵	あかね書房	913ハマ
はれときどきぶた	矢玉 四郎／作・絵	岩崎書店	913ヤタ
とねりこ通り三丁目 ねこのこぶじさん	山本 和子／作 石川 えりこ／絵	アリス館	913ヤマ
おすのつばにすんでいたおばあさん	ルーマー・ゴッデン／文 なかがわ ちひろ／訳・絵	徳間書店	933コツ
野生のロボット	ピーター・ブラウン／作・絵 前沢 明枝／訳	福音館書店	933フラ

『キュリオシティ』

マーカス・モートン／作 松田 素子／訳
BL 出版 **Eモト**

ぼくはロボット火星探査車キュリオシティ。地球以外の星に生き物はいるのか？人間の長い間の疑問に答えを見つけるため、地球から36億キロ離れた火星に253日間かけてたどりついた……。人間と火星探査車キュリオシティ（好奇心）の冒険の物語。

『日本カエル探検記』

関 慎太郎／写真・文
少年写真新聞社 **487**

日本全国どこにもいるカエル。この本は日本に暮らすカエル全48種類がみられます。オタマジャクシも15種類あって形や色がそれぞれ違って、みるだけでもおもしろい。オスがオスに抱きついてしまったり、ピヨ・ピーヨと鳴くカエルもいて、カエルって、お茶目でかわいいと感じてしまう一冊。

『いわたくんちのおばあちゃん』

天野 夏美／作 はまの ゆか／絵
主婦の友社 **Eハマ**

広島に住むいわたくんのおばあちゃんは、家族といっしょに写真をとらない。その理由は、16歳の時におきた悲しい出来事のせいだった…。絵はほんわかしていますが、「『戦争なんてずっとむかしの話』、なんて思わんでね。ひょっとしたら、『未来の話』になるかもしれんのよ。」というあとがきの言葉も胸を打つ、本当にあったお話です。

『あららのはだけ』

村中 李衣／作 石川 えりこ／絵
偕成社 **913ムラ**

山口に引っ越したえりは、横浜に住む親友のエミと文通をはじめます。おじいちゃんにももらった畑のこと、部屋に閉じこもっている幼なじみのけんちゃんのこと、手紙を通じて二人はいろいろなことを話します。ある日えりが段ボール箱につめて送ったあるものが、けんちゃんを外にひっぱり出すきっかけになりました。

『ウエズレーの国』

ポール・ワイルドマン／作 ケビン・ホーク／絵 千葉 茂樹／訳
あすなろ書房 **Eホク**

ウエズレーには、友達はいません。でも、彼には素晴らしい探求心があります。

夏休みにウエズレーは「自分だけの文明」を作る自由研究を始めました。自分だけの作物、自分だけのゲーム、自分だけの言語……。大きくなった文明は、次第に町のみならず巻き込んでいって……。

『10歳の質問箱 なやみちゃんと55人の大人たち』

日本ハッパ「子どもの本」委員会／編
鈴木 のりたけ／絵 小学館 **159**

あなたには、誰かに問いかけたくなるような疑問やなやみはありませんか？でも大丈夫！ここに、55人の文章のプロがそんな疑問やなやみに答えてくれた本があります。たとえば、「元気がないときは、どうしたらいいのですか？」「どうしたらモテる？」など……。この本を読めば、あなたの心のもやもやを払い払ってくれる言葉に出会えるかもしれません。